

キビシロタンポポ

Taraxacum hideoi Nakai ex H.Koidz.
キク科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地、個体数は少ない。

分 布

国内では、岡山、広島、愛知の各県に分布する。若狭町、小浜市。

種の特徴

シロバナタンポポに似るが、頭花は淡黄色～白黄色、総苞外片は卵状長楕円形～楕円形、圧着して反り返らない。長さは内片のほぼ 1/2、縁は膜質、うすく紅紫色をおびることがある。小さな角状突起があることがあるが、シロバナタンポポよりはるかに小さい。

生育を脅かす要因

道路の拡張、植生の遷移等。

参考文献 福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○				○												

オオバチドメ

Hydrocotyle javanica Thunb.
ウコギ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

選定理由

既知の生育地点は 8 箇所である。県内での生育地が限られており、個体数も少ないため、絶滅危惧Ⅱ類とした。

分 布

本州（関東以西）～九州に分布。県内では、福井市、小浜市、おおい町で確認されている。

種の特徴

山地のやや湿った林中に生える多年草。主茎は地をはい、斜上する枝に花序をつける。葉は大きく、直径 3～6 cm、表面に毛があり、掌状にごく浅く切れ込む。7～10 月頃、枝の葉腋から 1～数個の花序を出し、花は球状に集まる。果実は平たい球形。

生育を脅かす要因

生育地の森林の開発。植生遷移による生育環境の悪化。獣害の影響も新たな脅威となる。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○			○												○

ハクサンサイコ

Bupleurum nipponicum Koso-Pol.
セリ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

既知の生育地点は 2 箇所である。前回の調査では取り上げられなかったが、県内での生育地が亜高山に限られているため、絶滅危惧Ⅱ類とした。

分 布

本州中北部に分布する。県内では、大野市で確認されている。

種の特徴

高山・亜高山の草地に生える多年草。全草は青白色を帯びる。細く伸びる根茎があり、茎は直立し、高さ 20～60 cm。上部の茎葉は長卵形で、基部は広がって茎を抱く。8 月頃、茎頂や枝先に複散形花序をつける。総苞片は大きく、2～3 個。

生育を脅かす要因

生育地である亜高山の植生の変化。温暖化による生育地の減少。登山道整備への注意が必要である。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	